



フォレストピア学びの森 宮崎県立五ヶ瀬中等教育学校

所在地 西臼杵郡五ヶ瀬町大字三ヶ所 9468-30

電話番号 0982-82-1255

FAX番号 0982-82-1266

ホームページ <http://gokase-h.com/>

メールアドレス gokase@miyazaki-c.ed.jp

在籍者数 233名 学級数 6学級(平成29年5月1日現在)



6年間の一貫教育でともに学ぼう

本校は、21世紀の国際社会で主体的に活躍できる人材の育成を目指し、公立では全国初の中学校と高等学校を併せた6年間一貫教育を行う全寮制の学校として、平成6年4月に開校しました。その後、平成11年4月に中等教育学校に校種を変更し、今年で創立24年目を迎えました。充実した施設と五ヶ瀬町の豊かな自然のなかで、生徒、職員、保護者、地域の方々が一体となって「感動と感性の教育」を展開しています。

本校では、前期課程(中学)から後期課程(高校)への入試がなく、中高のつながりを円滑に行うことによって、時間や気持ちにゆとりのある学校生活を送ることができます。また、恵まれた環境のなかで、やまめの産卵や動植物の観察、神楽などの伝統芸能の学習、地域ホームステイ、スキー教室など、自然体験や社会体験を通して豊かな人間性を育てるとともに、個性の発見やその伸長を重視しています。さらに、大学進学に必要なとされる高い学力を身につけるために、少人数制を活かし、個に応じた教育を行っています。

「学びの森」には、新鮮な空気、澄んだ水、四季折々の豊かな自然、そして伝統文化に包まれた心温かい環境があります。「フォレストピア学びの森学校」は、日々新たな発見と新たな挑戦に満ちあふれた学校です。



[スキー教室]

地域を基盤にした体験学習

前期課程に「ローカル学1・2」「グローバル学1」、後期課程に「グローバル学2・3・4」からなる「グローバルフォレストピア学習」という総合的な学習の時間を設定しています。フォレストピア圏域(県北5町村)の自然や文化をフィールドに、体験学習を多く取り入れながら、自分の手足を動かして、自分の目でとらえたことを幅広い視点から探求し、表現できる能力を身につけることを目的としています。



[グローバルフォレストピア: わらじ作り]

人間性を身につける寮教育

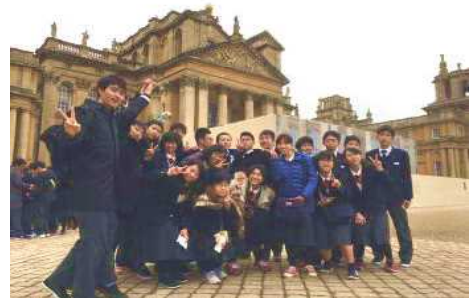
全寮制による生活体験を通して、学習習慣はもちろん、社会性や自己管理能力、自主性、忍耐力や指導力などを幅広く身につけることができます。異学年の生徒と教師によるファミリー制度を設けて、学校教育を側面から支え、教育効果をあげるとともに、社会生活の基礎を養います。寮には学習室・研修室・娯楽室などがあり、寮生大会・リーダー研修会・誕生会など、寮独自の多彩な行事が工夫されています。

寮室は、2人部屋（1～5年）と1人部屋（6年）があり、机・洋服ダンス・ベッド・暖房が完備されています。食事は、寮の食堂で生徒と教師が楽しくふれあいながら食べます。

学校行事

本校では、次のような学校行事がありますが、生徒会活動も含め、すべてにおいて前期課程と後期課程の生徒と一緒に活動する姿は、本校独自のものといえます。

わらじ遠足、地域ホームステイ、ミニトライアスロン大会、校内球技大会、フォレストピア祭（文化の部・体育の部）、スキー教室、修学旅行（前期課程：イギリス）、海外研修（後期課程：フィンランド・インドネシア・モンゴル）、校外研修など



〔イギリス語学研修〕

卒業後の進路

ほとんどの生徒が大学に進学します。東京大学などの難関大学をはじめ、医学部医学科などにも多数の合格者を出しています。過去5カ年の進路実績は次のとおりです。

〈国立大〉東北・山形・群馬・筑波・千葉・電気通信・東京・東京外国語・東京学芸・東京農工・横浜国立・新潟・名古屋・奈良教育・奈良女子・大阪・神戸・広島・山口・徳島・愛媛・高知・九州・九州工業・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・琉球など〈公立大〉前橋工科・大阪市立・大阪府立・兵庫県立・神戸市外国語・公立鳥取環境・岡山県立・下関市立・山口県立・山口東京理科・北九州市立・福岡県立・熊本県立・宮崎公立・宮崎県立看護など〈私立大〉青山学院・駒澤・東京理科・日本・法政・明治・立教・早稲田・関西・関西学院・立命館・近畿・産業医科・福岡・九州保健福祉など〈大学校〉防衛大・防衛医科大

卒業生の声

五ヶ瀬を卒業して10年。大学や社会で学ぶ事はとても多く、気づけば五ヶ瀬での6年という年月を超えてしまいました。それでもなお、五ヶ瀬で得たものは私の中に染み込んでいます。寮生活で共に苦楽を分かち合った友人との絆は言うまでもありません。兄弟の様でありながらも、尊重し思いやる距離のとり方、人の痛みに想いを馳せる事ができるようになったと思います。私はラジオの仕事でリスナーさんからメールを頂きますが、どんな環境、気持ちで送ってくださったのか想像し、できる限り寄り添えるよう努めています。これは私の仕事に限らず、社会人として大切な事だと気づきました。また、先生や寮母さんとの距離が近く、勉学以外に生活面でも支えて頂きました。思春期の多感な時期に、自分を信じ見守ってくれる大人の方の存在は、自己肯定感や自信の礎になると思います。五ヶ瀬で過ごす6年間は、苦しく辛い事も沢山あるでしょう（もちろん楽しい事も）。それはどこにいても同じです。しかし、どんな環境で、誰と、どう乗り越えていくかで、自分の糧になるかは変わります。12歳から18歳までの大切な6年間、五ヶ瀬で何物にも代え難い財産を見つけてください！ 黒木 梨澄（2007年卒業）